

荒尾干潟を守りたい！

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会 会長
荒尾漁業協同組合 代表理事 組合長 にしかわ こういち
西川 幸一さん

地域の暮らしを支え
みんなに愛されてきた
荒尾干潟のいのちを守る

今は温暖化の影響や生態系の変化
なのか、以前のような勢いが感じ
られません」と西川さんは寂しそ
うに話します。

荒尾漁業協同組合として、昨年「全
国豊かな海づくり大会」で漁場・環
境保全部門で水産庁長官賞を受賞。
また、試験的に牡蠣の養殖もスタ
トしました。この場所で採れた種
を、この場所で育てるをモットーに、
荒尾の新たな名物を育てています。
「魅力あふれる干潟を、地域全体
で今以上に愛していきたいですね」
と語る西川さんの言葉は、荒尾干潟
を愛する生きとし生けるものたち
の想いを代弁していました。



Shirochidori



Majyaku

「私が子どもの頃、有明海は『宝
の海』と言われていました」と懐か
しそうに振り返るのは、荒尾干潟
保全・賢明利活用協議会の会長で
あり、荒尾漁業協同組合の代表も
務める、西川さん。平貝やアサリ、
イダコにイカや海苔など、栄養
豊富な有明海は、年間を通じてさ
まざまな恵みを届けてくれる場
でした。かつて荒尾の海は頼もしい
ほどの力がみなぎっていました。

「荒尾干潟は、大きな河川と繋
がっていないため、ペットボトルやビ
ニールなどのごみの流入が少ない
恵まれた地ですが、降水量が増える
と海岸線に多くのごみが打ち上げ
られます。それらが定着すると干潟
やそこに住む生きものたちの元氣
が一気に失われてしまいます。畑と
違って元氣がなくなっても肥料を撒
くことはできませんから、地道な清
掃活動や定期的な耕うん機で耕す
などの保全活動を続けています」。
さらに西川さんは、干潟への理解を
深めてもらうため「マジック釣り大
会」や「テラー乗車体験」など、地
域の学習活動にも尽力しています。
そうした多角的な活動が評価され



大切な荒尾干潟を守っていく

こんなことやってます！



耕うん機に荷台を付けたテ
ラーに乗って、干潮時の干潟体
験を開催しています。

テラー乗車体験



7月3日の「荒尾干潟の日」にあ
わせて、干潟の生きもの観察会
を行い、干潟の生きものについ
て学びます。

荒尾干潟の日
干潟の生きもの観察会



荒尾干潟の海岸で音楽を聴き
ながら、干潟に沈む夕日を堪能
するイベントを開催しています。

サンセットカフェ&
コンサート

荒尾干潟の魅力を伝えたい！

私たちが愛する 荒尾干潟

希少種も飛来する自慢の干潟

渡り鳥たちの食べものとなるカニやゴカイ、魚など、多様な生物が生息する荒尾干潟には、さまざまな種類の鳥たちが訪れます。市の鳥に選定されているシロチドリはもちろん、世界に約4900羽しか生息しない滅危惧種のクロツラヘラサギをはじめ、ツクシガモやズグロカモメなどの希少種の姿も毎年観ることができます。日本各地の干潟で野鳥観察をしてきましたが、荒尾干潟ほど恵まれた場所は全国的にも珍しいので、渡り鳥が飛来する秋から春の時期は、ぜひ干潟に出掛けてくださいね。



荒尾干潟
水鳥・湿地センター
なるみ すえのぶ
鳴海 末信さん

365日夕日を愛でる映えスポット

荒尾干潟は広大な干潟面積や多様な生物など、無数に魅力がありますが、遠くに普賢岳を臨む水平線に沈む夕日も自慢です。干潮時にはウユニ塩湖のような風景や、海面に映る夕日が美しい光の光路を描きます。近年は映えスポットとしてSNSで認知度が高まり、カメラマンの数も増え、時にはキッチンカーもお目見えするなど賑わいを見せています。当施設のトイレも利用できますし、ごみの持ち帰りの徹底などマナーを守りつつ、夕日を眺めるひと時もおすすめですよ。



荒尾干潟
水鳥・湿地センター
はやし ひろみ
林 弘美さん



荒尾干潟に遊びに来てください！

泥んこの笑顔をいつまでも

子どもの頃は「あせもができれば海に浸かれば治る」と言われるほど、海は暮らしと密接に関わる場所でした。実際に海に入ると、足元に流れを感じられるほどパワフルな海流が自然と干潟を耕していたのだと思います。5月の潮干狩りの時期には、街中を泥だらけになって歩く人たちの笑顔が街の風物詩だと私は感じています。暮らしに安らぎと癒しをもたらしてくれる干潟を守りたい、という気持ちを一人ひとりの心に育むために、これからも干潟と地域を結ぶ役割を果たしていきたいです。



荒尾干潟
水鳥・湿地センター
おおその りょういち
大園 涼一さん

潮の満ち引きが描く景観美

荒尾干潟の特長のひとつは、潮の干満差にあります。干満時の風景は別物で、遠浅の海のため干潮時には約3~4キロほど潮が引くこともあり、広大な干潟の存在感を体感できます。波打ち際が遠くにあるため、海岸線でありながら波の音がしない時間帯があるのも新鮮です。満潮にかけて沖で食事をしてきた鳥たちが、潮に追い込まれるように海岸線へと寄ってくるので、野鳥の観察にもうってつけです。干満差が描く壮大な風景は必見です。



荒尾市役所
たけした ゆきのり
竹下 将明